

# 道路防災事業計画

## 計画の目的

新潟県が管理する道路は約5,400kmと長く、また地形及び地質の特徴から、斜面崩壊や土石流、地すべり等が生じやすい箇所が多数存在しています。

事前通行規制や道路危険箇所の点検等によるソフト対策を併用しながら、優先度評価に基づいた計画的なハード対策を実施することにより、防災・減災対策を効率的かつ効果的に推進することを目的としています。

## 計画の内容

### ▶ 優先度評価に基づく防災対策工事の実施（ハード対策）

#### ○ 対策箇所の状態を評価

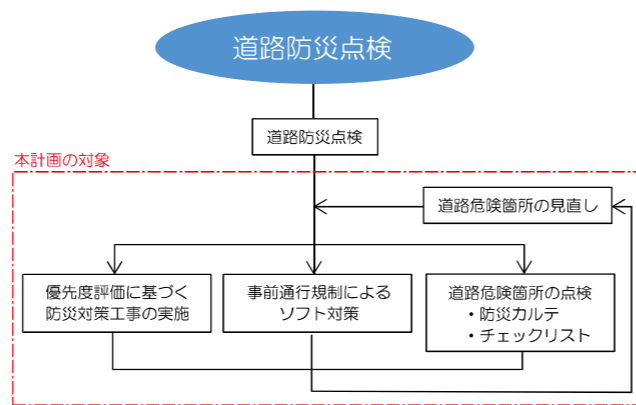
箇所別優先度評価：安定度調査評点、被害影響度、緊急性等から4段階に評価します。

#### ○ 対策箇所を路線の機能等により評価

区間優先度評価：緊急輸送道路、孤立集落の有無等から4段階に評価します。

#### ○ 対策箇所の優先度を評価

優先度評価：箇所別優先度評価、区間優先度評価の組合せにより優先度を4段階に評価します。



### ▶ 事前通行規制によるソフト対策

#### ○ 対策箇所に事前通行規制を併用

危険性が高い、又はハード対策の実施までに時間を要する区間は、事前通行規制を併用します。事前通行規制の併用にあたり、基準値は現地状況、近隣の規制区間の値を考慮し適切に設定します。

#### ○ 対策完了箇所の事前通行規制を緩和・解除

事前通行規制区間内の防災対策工事が完了し、災害の危険性が低減された区間は、規制基準値の随時緩和・解除します。

### ▶ 道路危険箇所の点検

#### ○ 防災カルテを用いた点検

事前通行規制の変更を予定している区間は、防災カルテを用いて定期点検を実施します。

#### ○ 道路危険箇所チェックリストを用いた点検

安定度調査結果で要対策、カルテ対応と評価された箇所は、道路危険箇所チェックリストを作成し、災害の発生が予想される場合、道路危険箇所チェックリストを用いた異常時点検を実施します。

### ▶ PDCAサイクルの実践

#### ○ 安定度調査の見直し

新たな災害発生や点検により変状などが確認された箇所は、安定度調査の結果を見直します。

#### ○ 優先度評価の見直し

安定度調査見直し結果や、周辺の道路利用状況の変化等に関する情報把握に努め、優先度評価を見直します。

# 自転車活用推進計画

## 計画の目的

自転車を活用した人と環境にやさしいまちづくりの推進、健康寿命の延伸、沿線の魅力を楽しむサイクルツーリズムの促進、自転車に関する安全・安心の確保等、新潟県における持続可能な自転車活用に関する施策の、総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としています。

県内市町村においてもサイクルツーリズムの促進等、様々な取組が展開されていることから、各地域の実情に応じた自転車を活用したまちづくりが行われるために策定しました。

## 計画の目標

新潟県総合計画や関連計画や施策との整合を図りながら、自転車が持つ二酸化炭素等の環境に深刻な影響を及ぼす物質及び騒音・振動を発生しないなど様々な特性に応じて、「まちづくり」「スポーツ・健康」「観光」「安全・安心」の4つの分野に整理しました。

### ▶ まちづくり：自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成



高齢者をはじめすべての人の移動のしやすさに配慮するとともに、過度に自動車に依存しない人と環境にやさしいまちづくりを目指し、自転車通行空間の確保など誰もが快適に自転車を利用できる環境づくりを行うことで、良好な都市環境の形成の推進を図ります。

### ▶ スポーツ・健康：サイクリススポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現



日常生活における自転車利用も含めた運動の習慣化、生涯スポーツの普及促進により、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、県民の健康寿命の延伸等を目指します。

### ▶ 観光：サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現



自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型、交流型旅行の促進や、各種自転車関連イベントの開催等を通じた観光地域づくりを推進し、自転車を活用した地域の活性化を図る。地域資源を生かしたサイクルツーリズムやサイクリスト受入のための環境整備、情報発信による観光・地域振興を図ります。

### ▶ 安全・安心：自転車事故の無い安全で安心な社会の実現



自転車利用者に対し、交通ルールの周知や安全教育を推進するとともに、自転車損害賠償責任保険等への加入を促進することにより、安全・安心の確保を図ります。災害時における自転車の有効活用を図ります。